

## 桜美林幼稚園自己点検・自己評価の結果について

2017年6月

桜美林幼稚園では、神様から授かったかけがえのない生命が、希望と喜びをもって健やかに育ってほしいと願いつつ、日々保育の業に取り組んでいます。これからも更に保育内容の充実を図り、豊かで安定した環境を整える為に、これまでの歩みをつぶさに振り返り検証する取り組みを、昨年度に引き続き2016年度も実施いたしました。ここに第9回目となる自己点検・自己評価の結果をご報告いたします。

### I. 自己点検評価

#### 【実施内容】

保護者アンケート	実施日	2017年1月16日～2017年1月27日
教職員による検討	実施日	第1回 2017年5月24日 第2回 2017年8月24日（予定）
調査・検証支援		株式会社トランストラクチャ

#### 【評価結果】

保護者の皆様からお寄せいただいた評価を総合すると、昨年度同様、今年度も概ねご満足いただける保育内容の結果であったと判断しております。

2016年度には、こども体育研究所による体育授業（正課）を導入し、また、課外授業として「こども体育クラブ」を開設いたしました。さらに、委員会活動の負担軽減を目指し、運動会委員の仕事内容を軽減し、さらに謝恩会を廃止いたしました。専門の臨床心理士によるカウンセリングルームを開設し、座談会を開催したことも新しい試みでした。これらの試みは保護者の皆様からのご意見に基づき、教職員で検討を重ねて取り組んだ項目です。アンケートの結果、これらはほぼ賛同を得られましたが、謝恩会の廃止についてはご意見が分かれました。

さて、私たちは、長年にわたって築き上げてきた良きキリスト教保育の伝統をこれからも堅持し、幼児にとって何が一番大切かの視点を決して失うことなく、保育の業の充実に努めて参りたいと願っております。ただ、決して現状に甘んじることなく、保護者の皆様とのコミュニケーションのあり方、父母の会をはじめとする諸活動のあり方、専門教育の充実等、常にわれわれが取り組まなくてはならない課題と向き合いつつ、お寄せいただいたご意見を真摯に受け止め、更に改善を図るよう努力する所存です。これからもどうぞ宜しく願いいたします。

【桜美林幼稚園に入園された理由について】

項目	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
問1 保育方針に賛同できたため	18	10	0	0	0	0	28
問2 保育内容がよいため	19	9	0	0	0	0	28
問3 行事・イベントが適度に行われているため	11	14	3	0	0	0	28
問4 キリスト教の精神に基づいた教育が行われているため	12	8	7	0	1	0	28
問5 モンテッソーリ教育(おしごとのおうち)が行われているため	19	8	0	1	0	0	28
問6 みんなの日(縦割り教育)が行われているため	11	12	4	1	0	0	28
問7 専門教育(英語、体育、顕微鏡観察、昆虫観察)が行われているため	13	10	5	0	0	0	28
問8 保育時間が適切であるため	2	11	12	3	0	0	28
問9 預かり保育があるため	4	11	13	0	0	0	28
問10 教職員の人がよいため	22	5	1	0	0	0	28
問11 子どもに対する教職員の数が十分であるため	19	9	0	0	0	0	28
問12 教職員と保護者のコミュニケーションが適切に行われているため	13	13	2	0	0	0	28
問13 園の設備・施設がよいため	6	17	4	1	0	0	28
問14 自然に恵まれているため	13	11	4	0	0	0	28
問15 安全に配慮された環境づくりがされているため	10	15	3	0	0	0	28
問16 園の規模が適切であるため	12	13	3	0	0	0	28
問17 送迎バスがあるため	13	9	6	0	0	0	28
問18 家からの距離が近いため	7	5	10	5	1	0	28
問19 職場との距離が近いため	1	1	10	5	3	8	28
問20 登園の送り迎えに都合がよい立地であるため	4	7	9	5	1	2	28
問21 入園料・保育料が適切であるため	3	15	9	1	0	0	28
問22 近所での評判がよいため	3	14	9	1	0	1	28
問23 給食ではなく、お弁当であるため	3	7	10	4	4	0	28
問24 兄弟が同じ園に通っているため	7	5	7	1	2	6	28
問25 知り合いの子どもが同じ園に通っているため	4	5	11	2	2	4	28
問26 保護者の出身園であるため	0	0	10	3	7	8	28
問27 父母の会、委員会、ボランティア等保護者同士のコミュニケーションの場があるため	1	5	16	5	1	0	28

【桜美林幼稚園の運営について】

項目	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
問28 お子さまは園で大切にされていると思いますか。	62	25	0	0	0	0	87
問29 園内では安全対策が十分とられていると思いますか。	45	39	3	0	0	0	87
問30 交通安全教室、各種避難引取訓練は安全を高めることに役立っていますか。	43	40	3	0	0	1	87
問31 (アレルギーの該当者のみお答えください。)アレルギーの対応について説明を受けましたか。	15	0	0	0	1	71	87
問32 (アレルギーの該当者のみお答えください。)アレルギーについての相談をすることができますか。	10	3	0	0	0	74	87
問33 (アレルギーの該当者のみお答えください。)園のアレルギーの対応は十分なされていますか。	12	2	0	0	0	73	87
問34 「預かり保育」を利用していますか。 ※利用している場合は「1」に、していない場合は「5」に○をつけてください。	78	0	0	0	8	1	87
問35 前の問で、「1」を選択された方に伺います。 「預かり保育」は安心して預けられる体制になっていますか。	58	17	3	0	0	9	87
問36 担当の教職員は、お子さまの良いところや個性を認めていますか。	49	37	1	0	0	0	87
問37 園の生活において、身近な自然や社会と十分に関わっていますか。	50	37	0	0	0	0	87
問38 園では、お子さまの発達に合わせた豊かな感性を育む活動・遊び等が行われていますか。	52	33	2	0	0	0	87
問39 園には、お子さまの発達や意欲を促すような遊具・教材が十分に用意されていますか。	54	31	2	0	0	0	87
問40 園では、集団生活を通し、社会性やルールを守る態度を育てようとしていますか。	50	36	1	0	0	0	87
問41 園では、あいさつなど、基本的な生活習慣が身につくように指導していますか。	52	34	1	0	0	0	87
問42 園の生活において、自分のことは自分でするなど、自立への指導がなされていますか。	55	32	0	0	0	0	87
問43 園での行事は楽しく、子どもの成長に役立つものになっていますか。	63	23	1	0	0	0	87
問44 お子さまが園の中で落ち着いて過ごせる雰囲気がありますか。	58	27	1	1	0	0	87
問45 お子さまは登園するのを楽しみにし、充実した園生活を過ごしていますか。	61	23	3	0	0	0	87
問46 キリスト教の精神に基づいた教育に満足していますか。	45	36	6	0	0	0	87
問47 モンテッソーリ教育(おしごとのおうち)に満足していますか。	54	28	4	1	0	0	87
問48 みんなの日(縦割り教育)に満足していますか。	40	34	10	2	0	1	87
問49 専門教育(英語、体育、顕微鏡観察、昆虫観察)に満足していますか。	37	34	14	2	0	0	87
問50 お子さまの様子について、保護者への連絡対応は十分にされていますか。	42	42	3	0	0	0	87
問51 保育中の発熱や怪我などの処置、保護者への連絡対応については十分ですか。	52	32	1	0	1	1	87
問52 施設内で感染症が発生した場合には、必要に応じてその状況について連絡がありましたか。	65	22	0	0	0	0	87
問53 「学年だより」や「クラスの写真掲示」等で月々の保育内容やねらい、園でのお子さまの様子を知ることができますか。	49	32	5	1	0	0	87
問54 毎学期発行の「おしごと」のおたよりは有益だと思われますか。	48	31	7	0	0	1	87
問55 「ほけんニュース」や「たのしくたべようニュース」等必要に応じた感染症や健康のお知らせは役に立っていますか。	29	44	11	1	2	0	87
問56 「月のおたより」の発行日を前月の25日前に早めたことについて、よかったですか。	52	24	11	0	0	0	87
問57 年1回発行の「桜美林幼稚園だより」は2016年にリニューアルしましたが、入園前にご覧いただいたものと比較して内容はわかり易くなったと思いますか。	17	40	25	2	0	3	87
問58 子育てなどについて、家庭と園に信頼関係があると思いますか。	50	34	3	0	0	0	87
問59 要望や不満は園に対して言いやすいですか。	34	35	12	4	1	1	87
問60 お子さまの気持ちや子育てなどについて、教職員と話したり、相談することができますか。	43	38	5	1	0	0	87
問61 園は要望や不満などにきちんと対応していますか。	46	30	9	0	1	1	87
問62 保護者が大切に考えていることについて、教職員は話を聞く姿勢がありますか。	49	36	1	1	0	0	87

項目	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
問63 園運営の基本的な考え方について、説明を受けたことがありますか。	35	44	7	0	0	1	87
問64 園の運営方針や保育に関する基本的な考え方は賛同できるものですか。	45	40	2	0	0	0	87
問65 園の指導計画やその内容は適切なものであると感じますか。	45	38	4	0	0	0	87
問66 園の方針・計画に沿った教育が行われていると感じますか。	45	42	0	0	0	0	87
問67 教職員は、保護者やお子さまに関するプライバシーを守っていますか。	49	35	2	0	0	1	87
問68 保育参観、親子触れ合いの会、ボランティア活動などは有意義なものとなっていますか。	51	28	7	0	0	1	87
問69 父母の会は有意義な内容ですか。 (父母の会で扱ってほしいテーマがありましたら自由意見に記載をお願いします。)	34	34	15	3	0	1	87
問70 父母の会の開催頻度は適切ですか。 (希望する開催頻度が具体的にありましたら、自由意見に記載をお願いします。)	28	37	18	3	0	1	87
問71 行事日程の設定は、保護者の状況に十分配慮されていますか。	29	36	19	2	0	1	87
問72 委員会活動(運営・バザー・運動会・ヤング・卒対)に参加したことがありますか。	75	0	0	0	10	2	87
問73 入園に際し、理念、方針、教育目標などについてわかりやすい説明がありましたか。	13	12	1	1	0	1	28
問74 あなたは入園のまえに施設を見学しましたか。 ※見学した場合は「1」を、見学しなかった場合は「5」を選択してください。	26	0	0	0	1	1	28
問75 入園前の問い合わせや見学の際は、快く対応してくれましたか。	21	5	1	0	0	1	28
問76 桜美林幼稚園のプレクラスに参加されましたか。	76	0	0	0	10	1	87
問77 (プレクラスに参加された方にお尋ねします。) プレクラスの開催頻度はよかったですか。	14	21	19	19	3	11	87
問78 (プレクラスに参加された方にお尋ねします。) 時間帯はよかったですか。	15	30	12	16	3	11	87
問79 (プレクラスに参加された方にお尋ねします。) 内容はよかったですか。	21	36	11	5	2	12	87
問80 桜美林幼稚園の園庭開放に参加されましたか。	35	0	0	0	49	3	87
問81 (園庭開放に参加された方にお尋ねします。) 開催頻度はよかったですか。	12	14	6	3	0	52	87
問82 (園庭開放に参加された方にお尋ねします。) 園庭開放の時間13:30~15:30はよかったですか。	6	15	7	6	1	52	87
問83 こども体育研究所による体育授業(正課)の導入はよかったですと思いますか。	38	33	8	0	0	8	87
問84 (体育の課外授業を受けている保護者のみお答えください。) 課外授業の「こども体育クラブ」導入はよかったですと思いますか。	20	14	4	0	0	49	87
問85 委員会活動の負担軽減をめざし、運動会委員の仕事内容を削減したこと (運動会当日の業務を大きく減らしたことはよかったですと思いますか。)	43	27	8	0	0	9	87
問86 (年長組の保護者のみお答えください。) 園児数減少に伴い、委員数を削減するため謝恩会委員を廃止したことはよ かったですと思いますか。	8	7	15	10	6	41	87
問87 専門の臨床心理士による無料のカウンセリングルーム開設及び座談会の 企画はよかったですと思いますか。	22	29	22	4	0	10	87
問88 お弁当を楽しみながら食べていると思いますか。	44	35	5	1	0	2	87
問89 愛され記憶として心の奥に残り、親子の絆につながるお弁当をこれからも 続けた方がよいと思われますか。	38	25	17	4	1	2	87
問90 偏食をなくすために給食の導入が必要と考えますか。	18	17	28	11	11	2	87
問91 毎日のお弁当作りは大変ですか。	6	22	26	21	10	2	87
問92 時には給食があっても良いと思いますか。 (もし、あっても良いと思われる場合は月何回、週何回程度など、自由意見 に記載をお願いします)	29	26	14	6	9	3	87
問93 現在のバス乗降場所や園バスの体制・対応は適切に行われていますか。	41	27	8	3	0	8	87
問94 園を総合的にみて満足されていますか。	62	21	2	0	0	2	87

## II. 財務の状況

「教育活動収支」においては、事業活動収入が約 7579 万円であったのに対し、事業活動支出が約 1 億 5147 万円となりました。教育活動収支のうちの事業活動収入とは、保育料、入園金、国庫からの補助金など、昨年度 1 年間に本園が受け取った収入の合計、事業活動支出とは、教職員の人件費、消耗品費など、昨年度 1 年間に本園が支払った、本園の運営に不可欠のさまざまな支出の合計です。2016 年度は特に大きな修繕費支出があったため、この分野では差し引き 7568 万円の支出超過となりました。

なお、「教育活動外収支」においては約 7 万円の収入超過、「特別収支」においては約 22 万円の支出超過となり、3 分野全体の合計では約 7583 万円の支出超過となりました。

引き続き厳しい財政状況が続いておりますが、園児の保育環境を改善していくための支出は他の項目の節約を図る不断の努力の傍ら何とかして捻出していく所存です。幼児を育む業は、神様から負託された思い使命であると認識し、これからも更なる改善を図っていきます。

### 【桜美林幼稚園事業活動収支】

教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	42,777,000
		授業料	31,670,000
		入学金	4,615,000
		実験実習料	0
		施設設備資金	710,000
		教育充実費	5,782,000
		手数料	145,000
		入学検定料	145,000
		証明手数料	0
		その他の手数料	0
		寄付金	422,655
		特別寄付金	110,000
		一般寄付金	312,655
		現物寄付	0
		経常費等補助金	27,357,855
		国庫補助金	0
		地方公共団体補助金	27,264,855
		東京都私学財団補助金	93,000
		付随事業収入	1,196,350
		補助活動収入	1,111,350
		受託事業収入	0
		公開講座収入	0
		その他の事業収入	85,000
		雑収入	3,892,476
		施設設備利用料	444,268
		私立大学退職金財団交付金収入	0
		東京都私学財団交付金収入	2,028,003
		入学案内書頒布収入	18,000
		補償金収入	0
		その他の雑収入	1,402,205
教育活動収入計	75,791,336		

教育活動収支	事業活動支出の部	人件費	99,527,494
		教員人件費	82,717,360
		職員人件費	12,600,095
		役員報酬	0
		退職給与引当金繰入額	2,182,036
		退職金	2,028,003
		教育研究経費	32,019,470
		消耗品費	2,302,135
		光熱水費	1,735,663
		旅費交通費	34,405
		奨学費	0
		減価償却費	6,118,888
		通信運搬費	295,889
		印刷製本費	149,174
		出版物費	160,590
		修繕費	16,855,307
		建物取り壊し費	0
		損害保険料	172,308
		賃借料	49,637
		公租公課	34,537
		諸会費	130,000
		会議費	914
		報酬・委託手数料	3,714,929
		広報費	0
		雑費	265,094
		管理経費	19,927,935
		消耗品費	629,553
		光熱水費	275,158
		旅費交通費	39,227
		減価償却費	3,960,917
		通信運搬費	111,361
		印刷製本費	164,173
		出版物費	3,674
		修繕費	211,448
		建物取り壊し費	0
		損害保険料	287,102
		賃借料	15,487
		公租公課	151,950
		諸会費	19,585
		会議費	327
		報酬・委託手数料	13,868,153
広報費	32,744		
雑費	24,380		
福利費	3,510		
渉外費	2,280		
補助活動支出	126,906		
徴収不能額等	0		
徴収不能額	0		
教育活動支出計	151,474,899		
教育活動収支差額	-75,683,563		

特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	0
		現物寄付	0
		施設設備補助金	0
		過年度修正額	0
		特別収入計	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	158,710
		建物処分差額	0
		構築物処分差額	0
		図書処分差額	158,710
		その他資産処分差額	0
		その他の特別支出	59,251
		過年度修正額	59,251
	特別支出計	217,961	
	特別収支差額		-217,961
基本金組入前当年度収支差額		-75,831,189	

### III. 2016 年度運営の状況

2016 年度も主の御守りの中で、また多くの皆様の祈りに支えられて育む業に取り組むことが許され、無事に 1 年の保育を終えることができましたことを先ずは心からの感謝を申し上げます。

桜美林幼稚園は設立当初からキリスト教精神を大切に守り、キリスト教保育を基盤として日々育む業に努めて参りました。2016 年度は、特に子どもたちの心身共に調和のとれた発達を更に促進することに注力し、幼児体育を専門に研究・実践されているこども体育研究所から講師を招き、正課体育の授業を充実させると共に、課外体育となる「桜美林体育クラブ」を開設しました。また、保護者の皆さまの子育てを支援するため、これまで夏休み期間だけ開設していました長期休暇期間の預かり保育の枠組みを春休みにも広げ、支援活動の促進、充実を図りました。更に在園児の保護者の皆さまだけでなく、地域の皆さまにもご利用いただけるカウンセリングルームを新たに開設し、子育ての相談ばかりでなく、ご家庭のこと、ご自身のこと等を気軽に相談いただける環境を充実させました。

これらの活動によって、どのような時代にあっても子どもたちが神さまから授けられた賜物を豊かに輝かせながら健やかに成長することを願い、これからも真摯に育む業に取り組む所存です。

また、幼児教育機関としてこれからも私たちの取り組みが皆さまに評価いただけるよう、教員一人ひとりが現状に甘んじることなく個々の教育力向上にも努め、各自が年間研究テーマを設定して外部研修にも積極的に参加し、その研究成果を発表する機会を設けて全教諭で共有する取り組みも始めました。

2015 年度に、「子ども・子育て新制度」が正式にスタートし、幼児教育を取り巻く社会情勢は厳しい時代を迎えています。たとえどのような時代にあっても、幼児期の教育は人間形成に最も大切な時期の教育であることを全教職員が深く認識し、神さまから授けられた命と賜物を豊かに育み、将来、国際人としてしっかり立ち続けることのできる強さと優しさを育む業に取り組んで参りたいと願っています。

ここに以下のとおり 2016 年度の活動について報告致します。

## 1. 園児数

収容定員	入園児	卒園児	在園児		年少	年中	年長	未就園児
160	28	46	男児	52	14	19	19	18
			女児	57	17	13	27	21
			計	109	31	32	46	39

※入園児は、2016年4月10日入園 ※卒園児は、2017年3月16日卒園

※在園児及び未就園児は、2016年5月1日現在

## 2. 教職員数

園長	教頭	専任教諭	非常勤教諭	教育補助教諭	契約職員	パート職員	看護師(兼務)	バス(委託)
1	1	6	6	3	1	4	1	3

※教育補助教諭は、体育講師1名、英語講師1名、カウンセラー1名

※看護師は、大学保健衛生支援室兼務 ※バス運転手は、株式会社ナルドからの派遣

## 3. 2016年度に取り組んだ主な事業

### (1) 主な年間行事

4月：進級式、入園式、イースター礼拝、親子遠足、引取り訓練

5月：サッカー教室、保育参観、避難訓練

6月：田植え、父母講演会、サンドイッチ作り

7月：年長組一泊保育、夕涼み会

8月：私立幼稚園協会主催教職員研修会、夏期保育

9月：避難一斉引取訓練、昆虫観察会、サッカー教室、バザー、公開保育・入園説明会

10月：運動会、稲刈り、お芋掘り、秋の遠足

11月：野球教室、交通安全教室、観劇、避難訓練、収穫感謝礼拝、親子ふれあい会

12月：クリスマス礼拝・聖誕劇

1月：お餅つき、お話の会、個人面談、一日園庭どうぶつ村

2月：豆まき、顕微鏡観察会、

3月：生活発表会、お別れ会、卒園式、修了式

### (2) キリスト教保育の実践

キリスト教保育を実践する上で大切なことは、幼子一人ひとりが、神に与えられた命を喜び輝かせることであると認識しています。たとえ目には見えなくても、主が共にいてくださることを信じ、そのことを感謝できる人となれるよう、礼拝を大切に守り、聖書の御言葉を伝え、祈りをもってその日を始め、祈りをもってその一日を終わる日々を積み重ねました。その積み重ねが、他者を思い、互いに尊重する心は聖書の御言葉によって深く幼子の心に刻まれ、将来、国際人として成長していくうえで大切な礎となると確信しています。



各学年は、以下の通り年間目標を定めて学年毎に礼拝をささげ、またキリスト教精神に基づいて諸活動に取り組みました。

年少：神様を信頼する子どもに育つ

年中：神様が一緒にいてくださることを喜ぶ子どもになる

年長：神様に感謝できる子どもに育つ

特別礼拝：イースター礼拝（4月）、花の日礼拝（6月）、収穫感謝礼拝（11月）

クリスマス礼拝（12月）

### (3) 正課体育の充実と課外体育の開設

子どもの心身共に調和のとれた発達を更に促進することに注力し、体育プログラムのより一層の充実を図ることを目指して、こども体育研究所の講師によるプログラムを年中組、年長組の正課授業に導入すると共に、課外体育として「桜美林体育クラブ」を開設しました。

2016年度は年中児 17名、年長児 18名、小学生 10名の希望者が年間 36回の指導を受けました。発達段階に沿って系統化された指導内容と独創的な指導法により、子どもたちの健やかな成長に資する指導が展開されました。

### (4) モンテッソーリ教育の充実

生きる力の基礎を築く幼児期に、確かな学力につながる経験を、一人ひとりが確実にできる環境を用意して実施することができました。自己選択した活動を通して、発達の鍵となる、集中力を身に付けていきます。

年長組、年中組：原則週 2日 各 1時間 モンテッソーリ教育専用施設で実施

年少組：原則週 2日 各 40分 園舎の各クラスで実施

ディプロマを持った教師 2名が中心となってカリキュラムを組み、担任も一緒に活動の提供をしました。

2016年度は、6月に『モンテッソーリ教育について』と題して、保護者の皆さまを対象にモンテッソーリ教育の成り立ちと児童観、教育の意味について学ぶ会を開催しました。また各学期末には、一人ひとりの活動報告を保護者の皆さまに書面で配布し、発達の理解を深めていただくことができました。

### (5) 縦割り保育と復活の丘での活動

2016年度も引き続き縦割り保育と復活の丘で自然に触れる機会を多くするために、活動日を原則毎水曜日に設定し、年間 15回、天候が許される限り復活の丘での活動を実施しました。自然の移り変わりを肌で感じながら、好奇心や探究心いっぱい自然に親しむ遊びを展開することができた 1年となりました。

### (6) 外部講師指導のカリキュラム

英語：原則週 1回

体育：原則週 1回（年長組・年中組はこども体育研究所の講師による指導）

昆虫観察：9月2日実施

顕微鏡観察：2月22日実施

(6) 子育て支援のための地域貢献プログラム

子育て支援の一環として年間を通じ以下の事業を実施しました。

①カウンセリングルームの開設

2016年度から新たな取り組みとし、カウンセラーによる無料育児相談を月1回開設しました。また、カウンセラーをファシリテーターとした子育て座談会を年3回実施しました。

②父親講演会：日時：6月18日（土）10:30～12:00

講師：桜美林大学 森和代教授

タイトル：「子どもの発達を支えるために養育者ができること」

③秋の芸術鑑賞会：日時：11月1日（火）10:30～12:00

講師：桜美林大学生涯学習センター講師 小澤由佳先生

タイトル：「クラシックは耳の喜び」

～ヴァイオリンに魅せられた作曲家たち～

④園庭開放：原則毎週水曜日 13:00～15:30

(7) プレクラス（未就園児クラス）の開設

年々減少傾向にある園児を安定的に確保するために、昨年度と同様に未就園児対象のプレクラスを開設しました。プレクラスは募集を2月に開始し、39名の幼子と保護者の方をお迎えできましたことは園としての喜びでありました。参加者の多くは、幾つかの園のプレクラスをかけ持ちをされていたようですが、60%の参加者に入園していただくことができました。早い段階から本園の教育理念及び環境を体感し、他園と比較検討した上での入園であったと考えています。また、年度後半に実施した5回の準備会も入園に向けて親子共に安心感を深めていただく機会となりました。

(8) 長期休暇期間の預かり保育

本園では、子ども子育て新制度の保育短時間（8時間）の区分を目安に、保育前後の預かり保育を設定しています。2014年度からは、保育期間中の通常の預かり保育に加えて、長期休暇期間の預かり保育として夏休みの預かり保育を9時～14時30分の時間帯で開設しました。2016年度からは、長期休暇期間中の預かり保育を更に充実させるため春休みの預かり保育も開始しました。

2016年度の夏休み預かり保育は、学園の一斉休暇期間（8月10日～16日）と土・日を除く7月25日～8月31日に23日間開設し、251名の皆さまにご利用いただきました。（2014年度は105名、2015年度は180名）また、春休み預かり保育は、3月21日～31日の期間に9日間開設し、147名の皆さまご利用いただきました。

(9) 安心安全の確保

2016年度は、園庭遊具の定期点検を4月に実施し、また学校保健法に定められた定期健診を4月と5月に実施しました。

(10) 大学との連携、協力

教育実習生は毎年度、複数の大学から受け入れていますが、桜美林大学からは、2016年度も保育専修コース履修学生を6月と11月各2週間、教育実習生として受け入れました。また希望者によるモンテッソーリ教育及び保育現場の見学の受け入れ、大学主催の保育専修生発表会「保育フェア」への参加、日本語プログラムの外国人留学生に園児との交流体験の機会を提供、生涯学習センター「読み聞かせの会」の講座受講者を対象に発表の機会の提供等、学園内での連携を更に深めることのできた1年となりました。

以 上